



## 学校給食無償化進めよ

伊藤 好晴 議員

国は「こども未来戦略方針」で、「学校給食費の無償化の成果・課題や実態調査を速やかに行う」ことを明記した。調査結果を分析し、無償化につなげる考え方と思われる。これを待たずに、無償化に取り組むべきと考える。

学校給食法は、施行70日を迎えて、食育や貧困対策を念頭に見直しが求められる。国が三食のうち一食に責任を持つ給食無償化は時代の要請にもかなう。本町でも、給食無償化に取り組む時期に来ていると考え、改めて見解を問う。

同法2条に、学校給食の目標が7項目(うち6項目)で定められており、無償化に取り組むべきである。

無償化を国に強く求めるべきで、町長の見解を求める。

事業の継続性、財政負担を総合的に判断し、国の動向を見守り、引き続き検討する。(国要望は)全国町村会で歩調を合わせて行っていく。



### A 引き続き検討

町長 塚原 隆昭

### A 国の動向を見守る

教育長 大谷 哲也



(諸物価高騰の折り)給食費の保護者負担を増やすことなく、魅力的な給食を継続しつつ、国への動向を見守る。

HPVワクチン接種を周知する。女性への周知に併せ、男性にも周知することが重要と考え、答弁を求める。

このほかに、町内いじめ問題についての質問がありました。

## 一般 質問 令和5年 12月定例会



## 有害鳥獣対策への支援は

内藤 真一 議員



今年のクマの目撃情報は9月時点では8件だったが、その後何件に増加したか。

また、令和4年の有害鳥獣の捕獲状況は、イノシシ65頭、シカ115頭、クマは8頭、シカ9頭ということだが、今年の捕獲状況は。

### A 昨年より減少傾向

町長 塚原 隆昭

クマは更に5件目撃された。有害鳥獣は10月末時点でイノシシ363頭、シカ63頭。クマの誤認捕獲は11月末で5頭となっている。

捕獲数は昨年より減少傾向だが、個体数が減少しているとは言えないと思う。

### A 特定鳥獣管理計画で管理を実施中

町長 塚原 隆昭

県内のツキノワグマは、「西中国地域個体群」として指定があり、島根・広島・山口の3県で共同し特定鳥獣管理計画を策定。被害防除や科学的な管理を実施している。

3県で協議の上、検討していくこと。

### Q HPVワクチン接種促進・周知を

町長 塚原 隆昭

HPVワクチン接種は大いに推奨され、無償で接種されていていた時期があつたが、副反応の報告が相次ぎ、中止された。

その後、副反応のリスクよりも子宮頸がん予防のほうが多いといふことで、接種される男性が増えれば、パートナーを守ることにもつながる。女性への周知に併せ、男性にも周知することが重要と考え、答弁を求める。

このほかに、町内いじめ問題についての質問がありました。

### A ホームページに掲載

町長 塚原 隆昭

定期接種の対象になる人には、本年6月直接通知した。キャッチアップ接種(※)の方にも文書で案内した。

(定期接種について)ホームページに掲載しているが、それを見に行ってもらう仕掛けが重要。わかりやすい情報発信が必要なので、きちんと心がける。

※キャッチアップ接種：HPVワクチンの定期接種の対象年齢(小学校6年から高校1年相当)の間に接種を逃した方に、あらためてHPVワクチンの接種の機会を提供すること。



誤認捕獲されたクマ

9月議会において、平成28年度から令和2年度にかけて國の補助事業で、ワイヤーメッシュ柵120キロメートル、電気柵110基が設置されており、イノシシのみではなく、シカ、クマについても効果があつたとの答弁だつた。

### Q 捕獲状況はどうか

### Q クマの指定管理鳥獣への要望は

今年は東北を中心に連日渦県知事による「北海道東北知事会」が環境省を訪れ、クマを「指定管理鳥獣」に指定するよう要望された。

11月17日には、浜田市金城町でも新聞配達中の男性がクマと遭遇し負傷された。島根県でも指定要望への動きはあるのか。

### A 交付金事業再開などで対策

町長 塚原 隆昭

国の補助事業を活用して要望があつた中山間地域等直接支払制度の協定組織に対する、防護柵の支援を行っていたが、令和3年度以降は休止している。

交付金事業の再開については、要望を取りまとめて、優先順位をつけながら対策を講じていく考え。

個人農地など全ての要望に応えていくことは難しい。

### Q 防護柵設置支援を

これらの設置は、中山間地域等直接支払制度を利用している団体等によるもので、個人農地などは対象にならなかつた。

防護柵の未設置箇所がなくなれば、鳥獣やクマの侵入が減少する。

個人農地にも補助し追加設置を進めてはどうか。